

みずほCustomer Desk Report 2019/01/16 号(As of 2019/01/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.42
TKY 9:00AM	108.24	1.1473	124.20	GBP/USD	1.2881
SYD-NY High	108.77	1.1490	124.85	AUD/USD	0.7226
SYD-NY Low	108.14	1.1382	123.40		0.7180
NY 5:00 PM	108.70	1.1412	124.03		0.7204
NY DOW	24,065.59	155.75	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,023.83	117.92	日本10年債	0.0100	0.00bp
S&P	2,610.30	27.69	米国2年債	2.53	▲0.41bp
日経平均	20,555.29	195.59	米国5年債	2.53	0.66bp
TOPIX	1,542.72	12.99	米国10年債	2.72	1.24bp
シカゴ日経先物	20,555.00	425.00	独10年債	0.2065	▲2.50bp
ロンドンFT	6,895.02	40.00	英10年債	1.25	▲4.00bp
DAX	10,891.79	35.88	豪10年債	2.2860	1.55bp
ハンセン指数	26,830.29	531.96	USDJPY 1M Vol	7.95	▲0.11%
上海総合	2,570.34	34.58	USDJPY 3M Vol	8.05	▲0.15%
NY金	1,288.40	▲2.90	USDJPY 6M Vol	8.23	▲0.09%
WTI	52.11	1.60	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	178.98	1.19	EURJPY 3M Vol	8.69	▲0.05%
ドルインデックス	95.98	0.37	EURJPY 6M Vol	8.88	0.00%

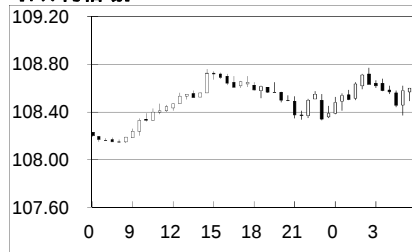
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月15日	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	1月 3.9	10.0
	22:30	米 PPI 最終需要(前月比/前年比)	12月 -0.2%/2.5%	-0.1%/2.5%

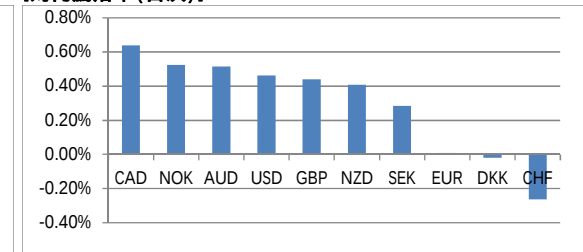
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月16日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	12月 0.1%/1.7%	0.1%/1.7
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	12月 0.2%/2.1%	0.2%/2.3%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	23.5%
1月17日	04:00	米 ページブック公表		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.50	1.1350-1.1450	123.00-125.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は底堅い展開。英下院でブレグジット協定案が大差で否決されると、リスクオフの流れから円高優勢の展開となるも否決に関しては相応に織り込まれていたこともあり、英ポンドが急反発に転じるとドル円も元の水準へと値を戻し、108.68でクローズ。ブレグジットを巡ってはハードブレグジットの現実味が高まる中、引き続き先行き不透明感が強い。ただしリスクアセットは値崩れしておらず市場センチメントの悪化は限定的であることも考えると、本日のドル円は108円台から大きく外れることはないだろう。

東京	東京時間のドル円は108.24レベルでオープン。五・十日のドル需要や、好調な日経平均株価の影響を受け、ドル円は朝から堅調に推移。しかし、英国下院議会でEU離脱合意案採決を控えるなか、108円台後半では上値を抑えられた。その後は108.70付近で探み合い推移となり、結局108.69レベルで海外市場へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.69でオープン。低調だった米銀決算を受け、ダウ先物がマウス権に沈むとリスク回避の売りが強まり、108.34まで下落。108.51レベルでNYに渡った。108.70まで下落する。その後はドルがポンド、ユーロで買われる展開に、ドル円は108.77まで戻す。午後は、英下院でメイ首相のEU離脱案が230票の差で否決されたことから、ポンド円が下落する展開にドル円も108.37まで下落するが、メイ首相が超党派と協議を今週開始すると発表し、ノ・ディールのEU離脱が無いとの期待から、ポンドが上昇。ドル円もポンド円の上昇に下値をサートされ、108.70まで戻す。終盤に掛けてはイベントを終えたことから、閑散な取引が続く。108.70レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1430レベルでNYオープン。朝方は一旦1.1455まで戻す局面もあったものの、ドナド総裁が「世界的な不透明感から、予想以上に景気が鈍化し、長引いている」と話したことからユーロ売りが再び強まり、1.1382まで下落する。午後は、英下院投票結果を受け、ユーロポンドが急落する展開にユーロドルの上値は重いのもの、ユーロ円の上昇に1.1417まで戻し、1.1412レベルでクローズした。(NY井上)
ニューヨーク	ドル円は108.51レベルでNYオープン。朝方発表された米1月NY連銀製造業景気指数が予想を下回り、12月PPI(前月比)もヘッドライン、コア共に予想を下回ったことから、ドル円は108.33まで下落する。その後はドルがポンド、ユーロで買われる展開に、ドル円は108.77まで戻す。午後は、英下院でメイ首相のEU離脱案が230票の差で否決されたことから、ポンド円が下落する展開にドル円も108.37まで下落するが、メイ首相が超党派と協議を今週開始すると発表し、ノ・ディールのEU離脱が無いとの期待から、ポンドが上昇。ドル円もポンド円の上昇に下値をサートされ、108.70まで戻す。終盤に掛けてはイベントを終えたことから、閑散な取引が続く。108.70レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1430レベルでNYオープン。朝方は一旦1.1455まで戻す局面もあったものの、ドナド総裁が「世界的な不透明感から、予想以上に景気が鈍化し、長引いている」と話したことからユーロ売りが再び強まり、1.1382まで下落する。午後は、英下院投票結果を受け、ユーロポンドが急落する展開にユーロドルの上値は重いのもの、ユーロ円の上昇に1.1417まで戻し、1.1412レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・森谷